

八千代工業株式会社

事業方針説明会

2020年6月23日

変更内容

取締役の体制を変更

- ・ 事業規模に見合った役員体制
- ・ 将来に向けた役員の若返りを図り、世代交代も含めた経営体制の刷新
- ・ ガバナンス・内部統制を強化するため新たに 2 名の社外取締役を配置

2020年6月23日まで

取締役 7 名（うち社外取締役 1 名）

社長

専務（生産本部長）

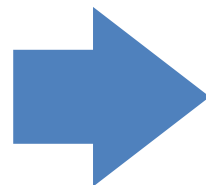
専務

常務

常務（開発本部長）

取締役

取締役（社外）



2020年6月23日以降

取締役 5 名（うち社外取締役 2 名）

社長

常務

取締役

取締役（社外）

取締役（社外）

(取締役の役職および常務執行役員は本日開催の定例取締役会にて任命予定)

取締役

加藤 憲嗣	代表取締役社長	
三島 清憲	常務取締役	管理本部長 コンプライアンスオフィサー
松原 美樹	取締役	合志技研工業代表取締役社長
藤井 康裕	取締役	社外取締役（非常勤）
飯田 藤雄	取締役	社外取締役（非常勤）

監査役

根岸 昭雄	常勤監査役
富永 和也	社外監査役
村松 昌信	社外監査役
松本 卓也	社外監査役

常務執行役員

木原 浩之	プロジェクト推進担当
長谷川 吉保	事業改革担当
堀田 貢市	開発本部長
和田 尚宏	生産本部長 リスクマネジメントオフィサー
太田 貞幸	営業購買本部長
橋本 行弘	全社品質保証責任者

長期、中期方針について

Yachiyoの目指す姿

**社会から存在を認められ、
存在を期待される企業を目指す**

社会環境

新興国…自動車市場はまだ拡大
先進国…リーマン前レベルへの回復基調
日本…高齢化などから自動車市場のシュリンク

Yachiyo 2020年 Visionステートメント

卓越した技術と特長ある製品で真のワールドワイドプレイヤーになる

技術・製品の競争力、事業、人材の3本柱でトップランナーになる

「真のワールドワイドプレイヤー」になるためには

技術・製品…11中に競争力の源泉の仕込み

事業……………他販拡大の強化。12、13中で刈取り

人材……………6年間かけて鍛え上げる（能力2倍）

	2020年ビジョン 到達目標	実績	課題
技術・製品	既存顧客の信頼を勝ち取り新規顧客の期待に応える競争力	タンク、サンルーフの競争力ある製品の仕込み、向上	品質保証体制の強化
事業	10年後に部品事業だけで現在の売り上げ規模を確保する	部品事業への事業構造転換が完了	北米、国内事業の健全化
人材	能力2倍・組織力2倍 = 4倍	人材活用施策により能力向上	グローバルオペレーションのための組織力の発揮

ヤチヨの事業の変遷（創業～現在）



Vision 2030

たゆ

ものづくりの弛まぬ進化でモビリティのキーカンパニーになる

存在意義・果たすべき使命（ミッション）

“心をこめたものづくり”で世界中の人たちを笑顔にする

強み（コアコンピタンス）

ものづくり力

×

人間力

企業理念

基本理念

人間尊重

顧客第一

社是

わたしたちは、世界的視野に立ち、お客様の満足のために、
卓越した技術と特長ある製品を供給する

Vision 2030

達成に向けて



Vision2030の実現に向け、3年中期毎にマイルストーンを設定

Vision 2030

たゆ
ものづくりの弛まぬ進で
モビリティのキーカンパニーになる

2020年度～2022年度

第14次中期（20-22中期）

さらなる成長の基盤づくり

収益基盤の確保 健全化 風土改革

重点施策

- ・競争力強化・ものづくり進化
- ・事業基盤の盤石化
- ・グローバルQD体質の強化
- ・人と組織の活性化・人材強化
- ・企業価値向上に向けたサステナビリティ展開

2023年度～2025年度

第15次中期（23-25中期）

事業体質の盤石化

新たな技術・製品、風土改革が完了

2026年度～2028年度

第16次中期（26-28中期）

飛躍に向けたチャレンジ

変革した要素で独創性を発揮し、新たな創造へ進む

2020

2025

2030

成長

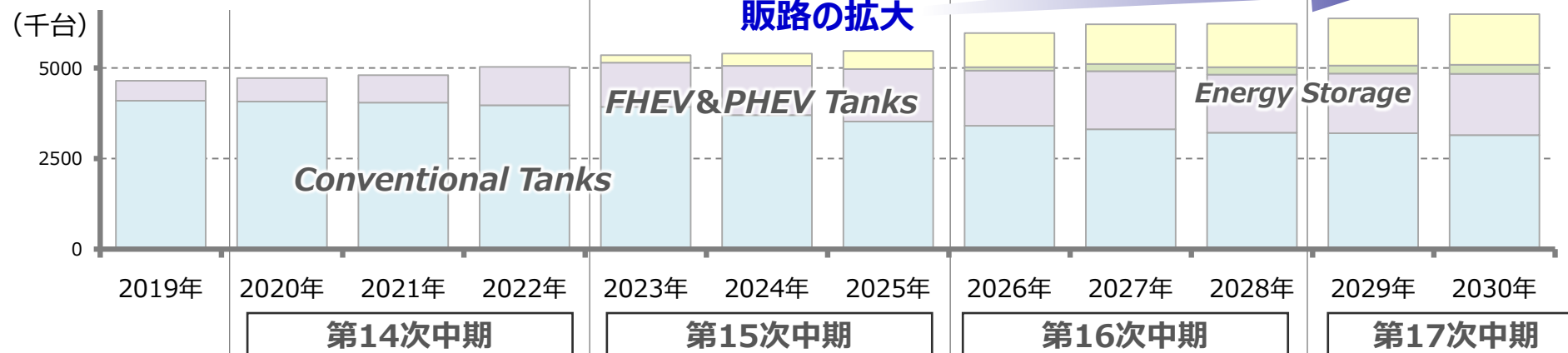
飛躍



主力製品の方角性

主力製品の方向性（燃料タンク）

〈生産台数見通し〉



〈開発進化〉

◆ エネルギーストレージ (天然ガス／水素)

地域・法規・ニーズに
合わせた最適商品開発



技術構築 ⇒ 量産性の確立

◆ 電動化対応 高圧密閉仕様 (FHEV & PHEV Tanks)



外部補強構造 ⇒ 内部支柱構造



更なる軽量化

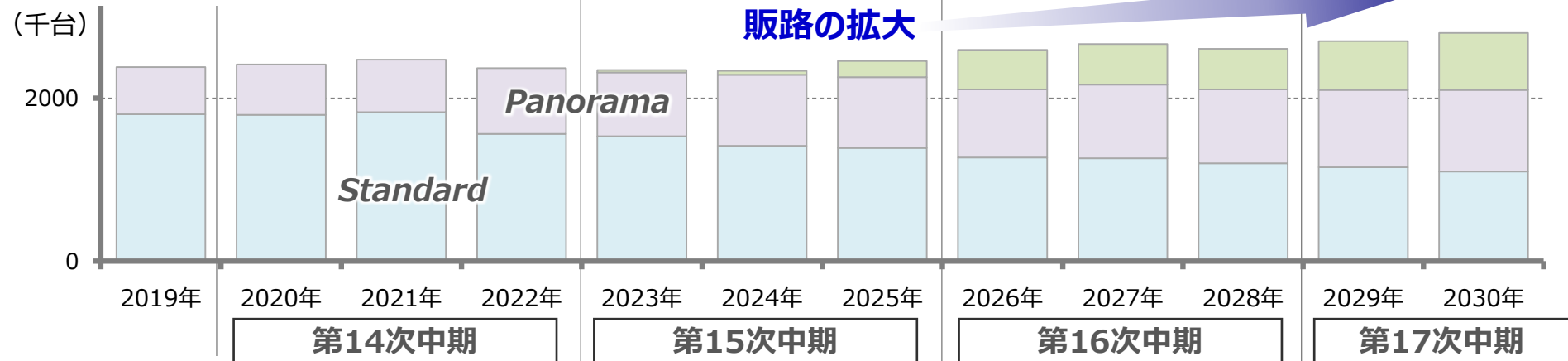
◆ 低コストスタンダード仕様 (Conventional Tanks)



流用/長用化
⇒ 生産性向上、投資抑制

主力製品の方向性（サンルーフ）

〈生産台数見通し〉



〈開発進化〉

◆ 超軽量薄型ルーフモジュール開発（EV車に向けて）

中国市場で戦える競争力の
高いサンルーフをグローバルに展開

自動車メーカーニーズを見据えて軽く薄く



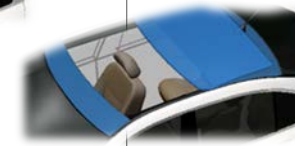
◆ パノラマ仕様の拡大



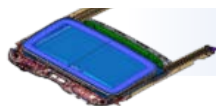
新構造パノラマ製品開発



ハイエンド向けフラッグシップモデルの拡大



◆ 低コストスタンダード仕様

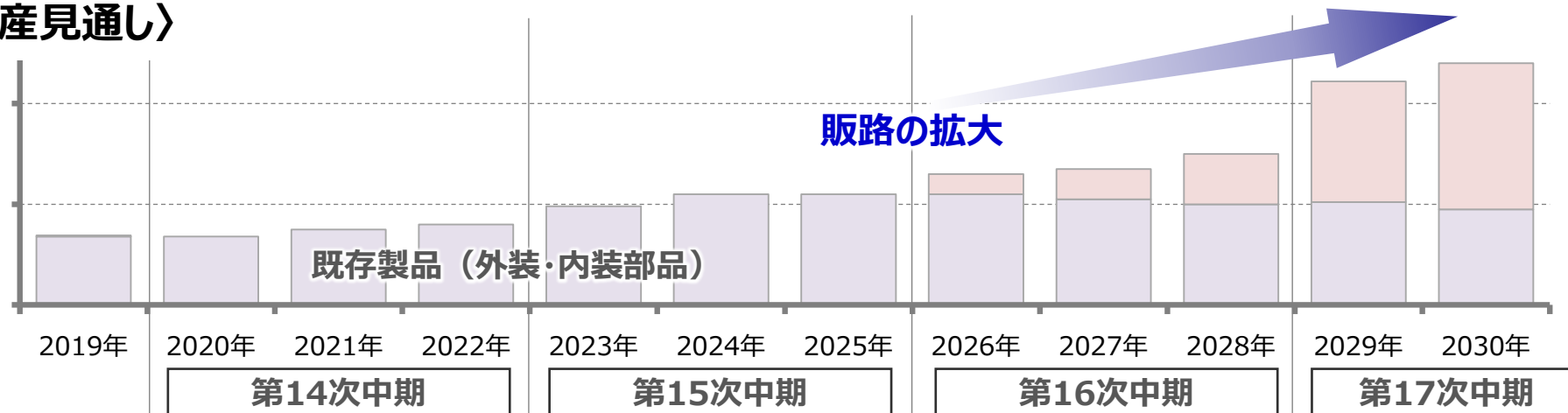


仕様最適化により収益性向上



主力製品の方向性（樹脂製品）

〈生産見通し〉



〈技術進化〉

開発力/技術力の構築

モジュール製品の拡大

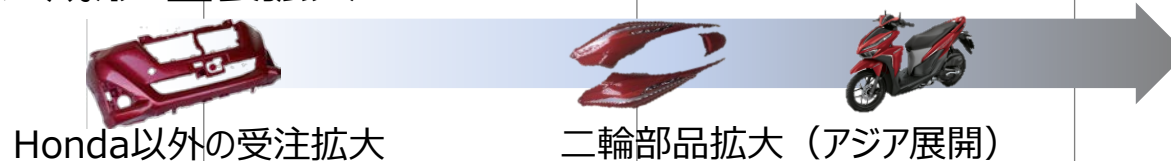
◆ モジュール化技術



CFRP技術の進化

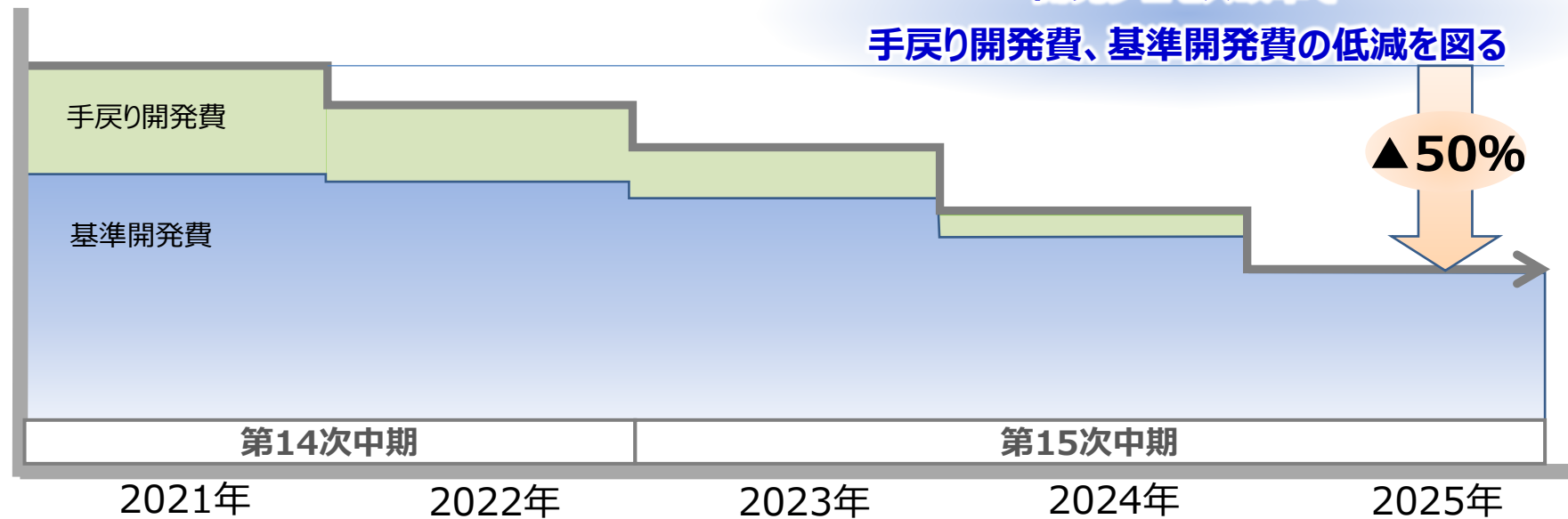
車いすレーサー S660ルーフ(BtoC製品)

◆ 成形・塗装拡大





〈 製品あたり開発費 〉



2021年3月期の連結業績予想、ならびに配当予想については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから未定としております。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で開示する予定です。

何卒ご理解いただけますよう、お願いいたします。